

# J R 四国 労組 ニュース

2024年1月29日 (No.17 / 1終) 発行責任者 / 大谷 清 編集責任者 / 和田 庄平

## 本四備讃線・児島～宇多津駅間 「運搬台車の列車衝突」について

12月14日に本四備讃線・児島～宇多津駅間において、作業中の運搬台車と列車が衝突する事象が発生した。

本部はこの事象に対し、12月15日付発第47号「本四備讃線 児島～宇多津間 運搬台車の列車衝突について」申し入れを行い、会社より以下のとおり回答があった。

### 1. 今回の事象をどのように受け止めているのか会社の考え方を明らかにされたい。

今回の事象については、お客様、列車乗務員及び現地の作業員に怪我はありませんでしたが、先頭車車両側面に取り付けられたウィンドウウォッシャー液配管を損傷させたとともに、一歩間違えれば、脱線・転覆に加え、運搬台車が橋梁から落下するといった重大な事故に繋がる可能性があった事象として認識しております。

本事象を受け、作業台車の取扱い方や運搬作業体制などについて一から見直すとともに、対策を徹底することで、今後の安全・安定輸送の確保が重要であると考えております。

### 2. 運搬用台車が転動した原因を明らかにされたい。

運搬台車と列車が接触した状況を直接見た作業員がいなかったため、想定となりますが、運搬台車のストッパーを失念し、列車通過時の振動などにより運搬台車が動いたため、列車と衝突に至ったと考えております。

### 3. 再発防止と今後の対策について明らかにされたい。

本事象発生後、緊急事故防止会議を実施し、取扱責任者を設定した上で、運搬台車のストッパーに加え、台車に取り付けた単管と管理路の高欄をゴムバンドで固定させる2重の応急対策を講じました。

今後の対策としましては、使用しない場合の運搬台車の取扱い方を定め、元請負会社および土木技術センターによる運搬台車の取扱いの状態に関する現地確認を実施します。また、瀬戸大橋上の特殊な環境下での工事施工であることから、当事象を含めた過去の対策事例を安全会議、新規入場者教育で繰り返し教育し、対策の風化防止に努めてまいります。

幸い、この事象によるお客様、作業員への怪我はなかったが、走行車両のウィンドウウォッシャー液配管が破損したうえ、走行中の列車への接触、また発生箇所が瀬戸大橋の橋梁上であることから、一歩間違えれば重大事故に繋がる恐れのある事象であった。

J R 四国 労組は、安全・安定輸送の確立がすべてに優先し、尊い命を預かる私たちの重大な使命であることを強く訴えるとともに、引き続き会社に対する「安全へのチェック機能」強化の運動を展開する。

以 上